

第35回鴨叡会・生命分子化学科セミナー報告

- 日時：平成28年11月18日14時30分～16時30分
- 場所：京都府立大学 6号館ホール1
- 講師：堀野 良和先生（富山大学工学部准教授）
- 演題：有機メタロイド基を持つアリルパラジウム中間体を用いた触媒的炭素-炭素結合形成反応
- 参加者：学部学生、大学院生、教員
- 参加者総数：約25名

第35回鴨叡会・生命分子化学科セミナーを開催した。講師は本年度の有機合成化学協会関西支部賞を受けられた富山大学の堀野良和先生である。生命分子化学科の三回生のほか、四回生、院生、教員さらには、京都府立医科大学の学生、教員の参加もあり、盛況であった。

内容は、本学の学生にはなじみの少ない、遷移金属化学分野の素反応開発についてであったが、基礎から判り易く講演していただいた。反応の至適条件を見出すため驚くべき数の検討が行われており、一つの新しい反応を見出すために大変な苦勞をしておられることが判った。会場からは学部学生をはじめ、院生、教員からも活発な質問がなされ、理解を深める事ができた。

